

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス かおり之園 じゅびたあ

公表日 2026年 3月 23日

利用児童数 26人 回収数 20 家庭

環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されているとしますか。	17	3				
2	職員の数配置は適切であると思いますか。	20					
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	2	1	バリアフリーを旨指すなら、エシレーターが必要と思う。	当園は肢体不自由対象の施設ではない為、エシレーター設置は必ずしも必要ではないと指差を受けている。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19		1		不必要な機材は片付けておく方が事故防止にもつながると思う。	危険なものはもちろん片付けるが、環境適応の観点から生活感を出すためにあえて置いている。
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に合わせた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			1		
7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			1		
9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	2		1		
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	7	5		
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1				
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	2	3		
15	日頃からこどもの様子を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	1		1		
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2				
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						

保護者への説明等

19	19	1			子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。
20	20				子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。
21	17	1	2		定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行勢予想、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。
22	19	1	1		個人情報情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。
23	13	2	5		事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。
24	18		2		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。
25	17	1	2		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で変遷が行われていると思いますか。
26	18		1	1	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。
27	20				子どもは安心感をもって通所していますか。
28	20				子どもは通所を楽しみにしていますか。
29	20				事業所の支援に満足していますか。
非 常 時 等 の 対 応					
満 足 度					最近はさぼり気味だが、行ってしまうとえば 気持の発散や満足感につながるような環境設定を用意し、楽しい時間を過ごせるように心がけていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス かおり之園 じゅびたあ		公表日	2026年 3月 23日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		2つの部屋を有効活用し、目的によってわかれている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		大型遊具を扱うため、余裕を持った人数配置をしている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚支援を用いて見通しにつなげている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除、汚れていたら部分的にきれいにし、清潔を保っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		バージョンを使用し、空間を区切って落ち書きられる空間やツールを提供している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日会議を行い、次回の支援に活かせるようにしている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見があればその都度周知し、改善案を話し合っている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の会議で機会を設けている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		行っていない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		OJT、DVD、初任者研修を行っている	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用者や保護者から聞き取りを行い、作成している	
適切な支援	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の会議で実施している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		活動計画を作成し、必ず職員間で共有している	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ビデオで録画して行っている	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人や保護者にアセスメントや聞き取りを行った上で計画している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全職員で行っている 必要に応じて意見を求めたり相談をしている	

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	過去のプログラムを確認し、必要に応じて新規性を取り入れている	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	粗大運動や集団での活動、個々で取り組める遊びなどを計画し、選択制を行っている 主体性を育んでいる	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容及び役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎日全職員で行っている	
21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	緊急性はあるものは当日に、なければ翌日にビデオを確認しながら行っている	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	ビデオでの記録も行い、次の支援に活かせるようにしている	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	安全に楽しく遊べるように必要に応じて計画の見直しを行っている	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○	選沢制の活動や話し合いを行い、主体性を大事にしている	外部活動は行っていないが、ソーシャルスキルトレーニングややるーる遊びなどで社会性が学べる活動を取り入れている
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	参加している	
26	障害児相談支援事業所のサービスマン担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	保護者からの聞き取りを行っている	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	児童発達との連携	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	送迎がないので保護者からの聞き取りを行っている	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	対面見なし	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	日々の療育に力を入れているため参加できていない	
31	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	送迎時に情報共有を行っている 必要に応じて家族支援を行っている	
32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	就業している保護者が多いため機会を設けることが難しい	
33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	年度初めに書類を配布している 変更があれば都度お知らせをしている	
34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	本人の意向も取り入れている	
35	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	日々やり取りを行い、発信しやすい雰囲気作りを意識している	
36	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	意見があれば速やかに上司に報告している 早期解決、対応できるように努力している	
37	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
38	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		

39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	月1回のお便りと、玄関ボードに子どもたちの様子を写真やポスターで発信している	
40	個人情報取扱いに十分留意しているか。	○	している	
41	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	個々に応じてツールを使用	
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	マニュアルを作成 保護者へ周知	
43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	年に複数回実施している	
44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	聞き取りや書類で共有し、確認している	
45	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	指示書を提出してもらい、除いた食材で提供している	
46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○	全職員で話し合い、共有している 書類にも記録している	
48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	研修の機会を設けている	
49	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	確認はしているが、現在身体拘束が必要な対象児はいない	

非常時等の対応

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス かおり之園 じゅぴたあ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		~ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 20家庭
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		~ 2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・身体をダイナミックに動かすことができる広いスペースがある。	・遊びの目的によって部屋を分けている。 ・大型遊具や遊び道具など、子どもたちのニーズに合わせた遊びを提供している。提供する際は安全確保ができる遊びかどうかを必ず確認している。	・子どもたちの意見も取り入れながら遊びのマンネリ化を防ぐ。 ・1部屋の利用人数が多い場合は必要に応じてグループ分けをし、分散する。
2	・食育活動を行っている。	・栽培活動や玄米、クッキングなど季節や時期に応じた食材の利用。 ・なるべく無添加の調味料や食材の使用を意識している。	・材料や工程が簡単で集めやすく、ご家庭でも挑戦しやすいような食育活動を行うことで、家庭にも繋げていく。

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・大型遊具の劣化	・遊具の使用頻度や利用児童の受け入れの拡大のため。	・遊具を使用する際に人数制限やルールを設けることで職員だけでなく、児童にも意識してもらう。 ・大型遊具以外の遊びの幅を広げるため、遊び道具を有効活用したり、ルール遊びを行ったりする。
2	・お迎え時に玄関が混雑する。	・建物の構造上	・必要に応じて送り出す児童に時間差を設ける。少人数の送り出しにすることでより保護者とのコミュニケーションが取りやすいようにしていく。
3			